

茨城県衛生研究所における病原体検出情報

— 2013年 8月号 —

1. 検出状況(8月1日～8月31日)

〈茨城県感染症発生動向調査事業に基づく試験検査〉

1)散発事例

(件数:人)

	臨床診断名	検出ウイルス	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス	急性脳炎・脳症	エンテロウイルス属+EBウイルス			1										1
		ヒトヘルペスウイルス6型	1						2						3
	急性呼吸器感染症	RSウイルス								2					2
	デング熱・チクングニア熱	デングウイルス 1型									1				
デングウイルス 4型										1					1

急性脳炎・脳症 エンテロウイルス属+EBウイルス:6歳男児の糞便からエンテロウイルス属を、血液からEBウイルスを検出
 ヒトヘルペスウイルス6型:0歳児女児(2人)、1歳男児の血液から検出
 急性呼吸器感染症 RSウイルス:2ヶ月女児、7歳女児の咽頭ぬぐい液から検出
 デング熱・チクングニア熱 デングウイルス 1型:10代女性の血液から検出。海外渡航歴あり(カンボジア)
 デングウイルス 4型:50代男性の血液から検出。海外渡航歴あり(タイ)

2)病原体定点依頼検査 (小:小児科定点、イ:インフルエンザ定点、眼:眼科定点、基:基幹定点)

(件数:人)

	臨床診断名	検出ウイルス	水戸	ひたちなか	常陸大宮	日立	鉾田	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	常総	古河	合計
ウイルス	小 手足口病	エンテロウイルス属	1			1					3				5
	小 咽頭結膜熱	アデノウイルス				1									1
	基 無菌性髄膜炎	エンテロウイルス属							2	3				1	6

手足口病 エンテロウイルス属:1歳から4歳児(5人)の咽頭ぬぐい液から検出
 咽頭結膜熱 アデノウイルス:8歳女児の咽頭ぬぐい液から検出
 無菌性髄膜炎 エンテロウイルス属:0歳女児(2人)、11歳男児の髄液、血液、咽頭ぬぐい液、糞便から検出
 5歳男児の髄液、血液、糞便から検出
 0歳男児の髄液、咽頭ぬぐい液、糞便から検出
 0歳児血液、糞便から検出

2. 月別検出件数

(件数:人)

臨床診断名	検出ウイルス	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
Dengue熱・ チクングニア熱	Dengueウイルス 1型								1					1
	Dengueウイルス 4型								1					1
急性脳炎・脳症	A群ロタウイルス	1	1		1									3
	エンテロウイルス属	1						1						2
	コクサッキーウイルスA6型							1						1
	エンテロウイルス属 +EBウイルス								1					1
	ヒトヘルペスウイルス 6型			1	1				3					5
	アデノウイルス 6型					1								1
麻疹	ヒトヘルペスウイルス 6型		1	1	1			1						4
	ヒトヘルペスウイルス 7型			1		1								2
	風疹ウイルス		2	1		1	2							6
風疹	風疹ウイルス		3	3		1	1							8
	EBウイルス			1										1
咽頭結膜熱	アデノウイルス								1					1
	アデノウイルス 2型							1						1
	アデノウイルス 4型							1						1
感染性胃腸炎	ノロウイルス G I		3	6	9	5	4							27
	ノロウイルス G II	7	9	19	8	8	18	16						85
	サポウイルス		3		10	3	3	2						21
	A群ロタウイルス		5	10	8	5								28
手足口病	エンテロウイルス属							7	5					12
	コクサッキーウイルスA6型						6	15						21
ヘルパンギーナ	エンテロウイルス属							1						1
インフルエンザ	インフルエンザAH1pdm09	1	1		2	2								6
	インフルエンザAH3	81	34	9		1	4							129
	インフルエンザB	1	2	6			1							10
流行性角結膜炎	アデノウイルス 53型		1											1
	アデノウイルス 4型				1									1
無菌性髄膜炎	エンテロウイルス属							5	6					11
急性呼吸器感染症	RSウイルス A型	1												1
	RSウイルス								2					2
細菌	レジオネラ症	Legionella pneumophila	1	2										3

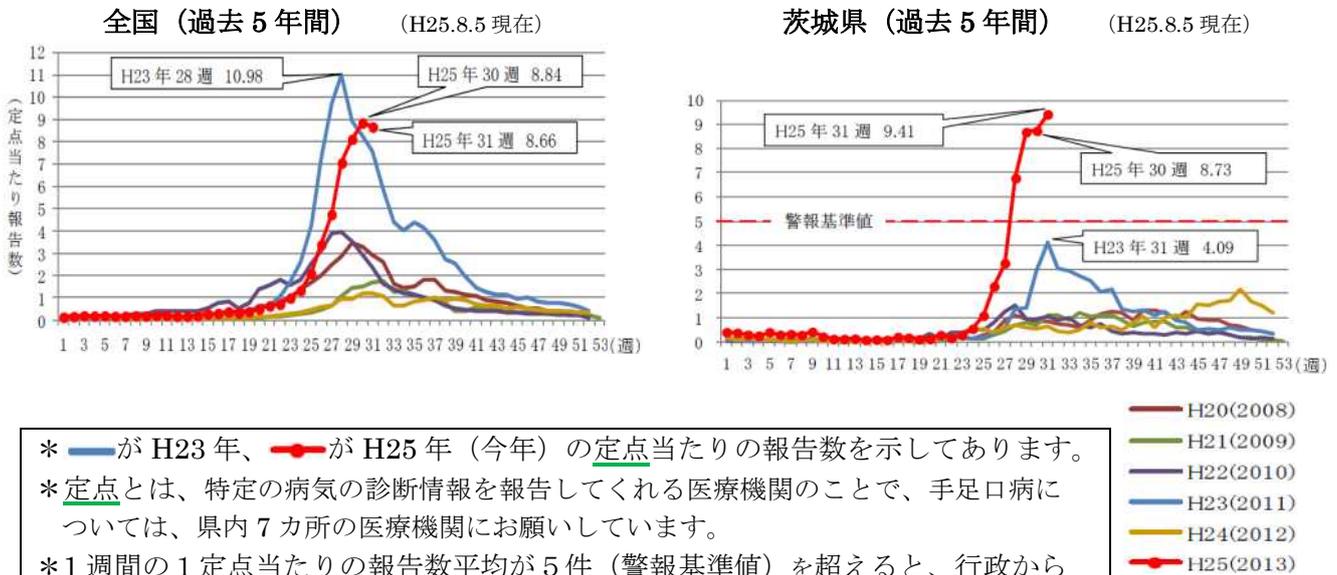
【補足情報(ウイルス)】

- ・急性脳炎・脳症
5月に検出されたアデノウイルスはアデノウイルス6型であった
- ・手足口病
6月、7月に検出されたエンテロウイルス属はコクサッキーウイルスA6型であった
- ・咽頭結膜熱
7月に検出されたアデノウイルスはアデノウイルス2型と4型であった

手足口病について

◎発生状況

手足口病は、手・足・口などに発疹が現れるのが特徴で、主に夏、乳幼児を中心に流行します。今年、平成 23 年に続いて全国的な大流行があり、茨城県では平成 23 年をはるかに上回る報告がありました。

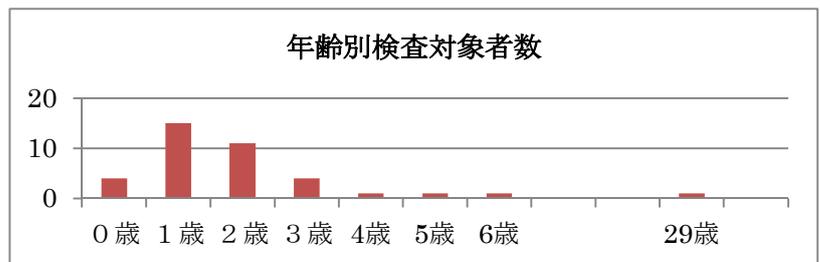


- * — が H23 年、— が H25 年（今年）の定点当たりの報告数を示してあります。
- * 定点とは、特定の病気の診断情報を報告してくれる医療機関のことで、手足口病については、県内 7 カ所の医療機関にお願いしています。
- * 1 週間の 1 定点当たりの報告数平均が 5 件（警報基準値）を超えると、行政から感染注意に関する警報が発せられ、2 未満で終息と判断します。

◎検査状況

ウイルス部では、6～8 月の 3 ヶ月間で茨城県内の病院で手足口病と診断された患者 38 名の臨床検体を検査し、このうち 33 名から、手足口病の主な原因であるエンテロウイルス属を検出しました。

右のグラフは、検査した患者を年齢別に示したグラフです。乳幼児が主に発症することがわかります。しかし、流行時には乳幼児と接する子育て世代の大人も感染し発症することが報告されています。



エンテロウイルス属には、複数のウイルスがあり、今回検出したウイルス

を調べたところ、(H25.8.31 現在) 22 名がコクサッキーウイルス A6 でした。(残り 11 名については検査中) この結果は、H23 年及び今年の全国の傾向と同様です。

過去に全国で検出されたウイルスをみると、H18 年はコクサッキー A16、H20 年はエンテロウイルス 71 が流行していて、流行ごとに主流となる原因ウイルスが異なっています。

◎予防と発症時の対応

手足口病の原因ウイルスは、患者咽頭からの飛沫や糞便を扱うことによる手指の汚染によって感染します。感染を予防するためには、手指の衛生管理が大切です。症状が治まった後も、数週間は糞便中等にウイルスが排出されるので注意が必要です。

ウイルスに感染してから症状が出るまでの期間は通常 3～7 日です。最初の症状が発熱のみの場合も多いので、周囲で手足口病が流行している場合、発疹がなくても、手足口病の可能性があり、まれに重症化する場合がありますので、早めに医師に相談して下さい。